

単元名 詩の楽しみ方を見つけよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読することができる。
 (2) 詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
 (3) 自分が感じたことが伝わるように朗読の仕方を考え、気に入った詩を紹介しようとする。

標準的な展開例

06010301_001

【教材名】詩を朗読してしょうかいしよう

(P. 184～P. 185)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 詩を読んで、朗読の仕方を考える。</p> <p>★お気に入りの詩を朗読して紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○詩を読み、感じたことや考えたことを交流する。 ○どのようにすれば感じたことや考えたことが表現できるか、朗読の仕方を考える。 ○お気に入りの詩を選び、朗読の練習をする。 <p>2 お気に入りの詩を朗読し、紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お気に入りの詩について、朗読の練習をする。 ○お気に入りの詩を朗読し、友達に紹介する。 <p>○活動を振り返る。</p>	<p>【評】朗読の仕方を考える活動を通して、表現の効果を考える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩に表現されたことと、自分の気持ちが重なることについて考えさせる。 ・その詩を選んだ理由や、感じたこと、考えたことも述べさせる。 <p>【評】詩を朗読する活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからどのように詩を楽しんでいこうと考えているかを書かせる。

【 備 考 】